

手順4 同質出隅の施工

[実接合]

- 留付金具EX出隅用を使用し、実付同質出隅を取り付ける。
- ※ポーチ柱の場合は、柱の対角に実付同質出隅を取り付ける。
- 上記に続けて、内寸を調整し、合いじゃくり加工を施した同質出隅を取り付ける。(図3参照)

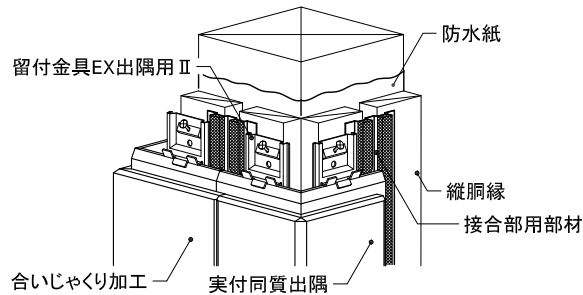


図3 ポーチ柱（実接合）

[突き付け接合]

- 留付金具EX出隅用（JE552C、JE825C）を使用し、手順3で加工を施した同質出隅を取り付ける。
- 上記に続けて、（加工した同質出隅を隙間ができないように取り付ける。(図4参照)

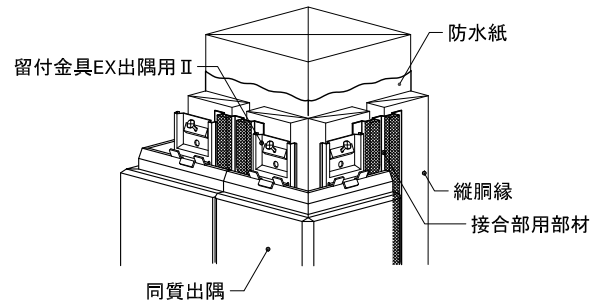


図4 ポーチ柱（突き付け接合）

※ポーチ柱は手順4で終了です。袖壁部は手順5に続けてください。

手順5 COOLイルミオの加工（袖壁）

[実接合]

- 躯体の倒れなどを考慮しながらCOOLイルミオを切断する。（左右接合部に隙間ができないよう、出隅端部に合わせて切断）
- COOLイルミオ裏面端部（出隅側）に合いじゃくり加工を施す。
- COOLイルミオ表面端部（出隅側）にヤスリ等で面取り加工を施す。
- 面取り加工面・小口・裏面切削部にモエンシーラーを塗布する。乾燥後、裏面切削部にはモエンシーラーを、面取り加工面・小口には小口専用補修液を塗布する。

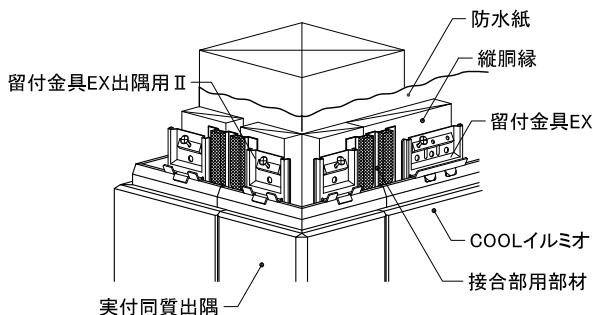


図5 袖壁（実接合）

[突き付け接合]

- 躯体の倒れなどを考慮しながらCOOLイルミオを切断する。（左右接合部に隙間が出来ないように、出隅端部に合わせて切断）
- 切断したCOOLイルミオ表面端部にヤスリ等で面取り加工を施す。
- 面取り加工面・小口にモエンシーラーを塗布し、乾燥後に小口専用補修液を塗布する。

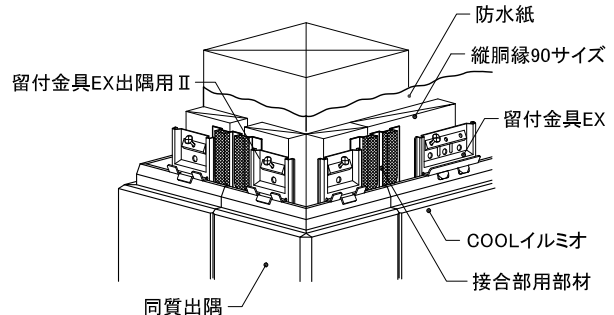


図6 袖壁（突き付け接合）



- ・同質出隅同士の左右接合部には、必ず『接合部用部材』を使用してください。
- ・下地の断面寸法が足りず、部材が納まらない場合は、下地を追加してください。
- ・使用する同質出隅は設計寸法よりやや大きめを用意してください。